久斗山地区公民館だより

令和8年
11月号
10月22日発行
久斗山地区公民館

【ご挨拶】　秋が深まり、雨続きの不安定な天気もようやく秋晴れの好天が続くようになり、行楽に良い季節となりました。まだ紅葉は少し早いですが、登山やハイキングも楽しいです。ただ、ちょっと気をつけなければならないのは、秋になると野生動物の活動が盛んになることです。動物たちは厳しい冬を乗り越えるために秋に餌をしっかり食べて、体に脂肪を蓄える必要があります。また、シカは秋が繁殖期なので、牝を呼ぶ牡ジカの鳴き声が昼夜を問わず聞こえます。恐いのは柿などの餌を求めてクマが人里周辺に出没することです。豊岡市では10月になって、住宅地や民家周辺に出てきたクマが兵庫県内初の緊急銃猟で殺処分されました。これからが本気で**「熊に注意！」**です。

【秘境、小又川渓谷 桂ノ滝】

上山高原を源流とする小又川渓谷(新温泉町海上)には、シワガラの滝など幾つかの滝があります.桂ノ滝もその一つで、シワガラの滝より上流にあり、急斜面の険しい登山道を約1.8km進みます.滝は落差25m、細い水路のような岩の間を流れ落ち、途中で〝く〟の字に折れ「中折れの滝」とも呼ばれます.滝に行くには危険を伴いますが、町内の秘境にある滝として一見の価値があります.





タツナミソウの一種



ヒメツチグリ

桂ノ滝(右)とそこへ行く登山道（令和8年10月4日）



【秋晴れ、「秋の自然体験」(公民館、青推協、新温泉町子ども会育成連絡協議会 合同開催)】

10月10日は晴れの特異日です.朝から雲一つ無い快晴になりました。「秋の自然体験ー芋掘り体験、飯ごう炊さん、ジビエカレー」の行事に絶好の日和となりました.午前9時前から、公民館にはスタッフや参加者が集まり、この日、幼児から80歳代の年配の方まで41人の参加となり、とても賑やかに開催されました.開会の後、さっそく近くの畑に散らばり、3品種のサツマイモを一人2株ずつ掘りました.手で土を掘ると大きな芋が顔を出し、あちこちで歓声が上がっていました.芋掘りの後はお昼の準備、飯ごうで新米と一緒にムカゴや栗を入れて炊き、大鍋で鹿肉の入ったジビエカレーを作りました。出来上がったカレーはとても美味しく、さっそくお代わりが続出。天気が良すぎて日差しの下は暑かったけど、テントの下は涼しく、楽しく秋の一日を満喫しました。





栗、胡桃、サルナシなど木の実



大きな芋が掘れた



みんなでカレーに入れる野菜を調理



ムカゴ入りご飯など



【久斗山、大杉神社秋祭り】



10月1日は久斗山大杉神社の秋祭りです。今年は祭り前に村内で不幸が続いたので、幟旗も境内に一対しか立てず、少し寂しい祭りとなりましたが、当日は好天に恵まれ、いい祭りとなりました。昼過ぎから村人が参拝に訪れ、宮司によるお祓いの後に釜湯神事が執り行われました。さらに夕方、大桧の根元の濁酒による吉兆占いがあり、今年は「吉」と出ました。全国で大雨などの災害があった中で、当地は大きな被害も無く、これも大桧のお陰と安堵しました。



【諸寄、北前船寄港地祭り】

10月3日、諸寄の集落ｾﾝﾀｰを会場として、北前船の寄港地祭りが開催され、多くの参加者で賑わいました。午前10時半に開会式があり、谷公一衆議院議員ら来賓の挨拶の後、明星保育園の園児の演技や浜坂西小生徒の北前船の発表がありました。歴史･文化･食を知る良い機会でした。



【浜坂東小5年 安泰寺に行く】

9月19日、浜坂東小学校5年の学Ｐの行事で、生徒とその保護者が池ヶ平安泰寺まで、往復4kmを歩きました。寺では僧侶の手ほどきでピザを作り、お昼に焼きたてを美味しくいただきました。午後は本堂で座禅をして、静かな瞑想の時を体験しました。安泰寺さんに感謝！



【公民館のグラウンド整備】

9月20日、午前8時前から、久斗山区の役員によって公民館のｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ内の草刈りを行なってもらいました。芝などの雑草はしぶとく、刈っても直に繁茂しますが、これでひとまず抑えられます。近頃は夜にシカがｸﾞﾗｳﾝﾄﾞを走っています。雑草を食ってくれたらいいのに…



【新温泉町小学5年 上山高原に行く】

10月7日、この日は5日から始まった町内小学校全校の5年生が集まっての自然学校の真っ最中。ﾒｲﾝ行事である上山高原登山が開催されました。好天に恵まれましたが、往復12km以上の徒歩はけっこうキツかったです。でもみんな元気良く歩ききりました。お疲れ様！



○令和8年 11月の行事

10/31日～11/2日	第22回新温泉町文化祭 作品展示浜坂会場（多目的ホール）
3日（火）	第22回新温泉町文化祭 舞台発表（夢ホール）
11日（水）	「久斗山自然教室」 （9:00～15:00 浜坂東小学校3･4年生）
15日（日）	久斗山自然教室「ジビエ・アクセサリー作り」 （9:00～11:30 久斗山地区公民館・新温泉町青推協合同）



四季の久斗山生物だより

ハラビロカマキリ（カマキリ類）

秋によく見つかるカマキリで、腹部が太く、全体にずんぐりした姿をしています。翅の中ほどに一対の白斑があり、よく見ると鎌になった前足に黄色いイボがあるのが特徴です。雌は秋の終わりに枝先などに卵鞘を作ります。腹の中にハリガネムシが寄生していることがあります。



ハラビロカマキリ ♀
秋晴れの昼間、野原などで見つかることがある。

かってに昔話 蜘蛛が好き！ 第七話

作、いっこう

多くの生徒は、特に大学進学を目指す生徒は目標の大学に合格するための受験勉強で放課後の部活動には出なくなります。三年生になれば進路を真剣に考えなければなりません。特にどこの大学に行きたいという志望校はまだ決めていませんでしたが、大学に進学し、クモの研究をやりたいという思いはありました。

天学でクモの研究するなら、やっぱり八木沼博士のおんなる大阪の追手門学院大学だでな。私立だけど、志望校はそこにするかな…」

新学期が始まったばかりの放課後の部室で、すでに国立大学を受験することを決めたＴくんと、そんな暢気な話をしていました。

「いけんいけん！この子を外に出したら、絶対に戻ってくりゃへん。大事な長男が家におらんようになったらどうするだ！儂が生きとるうちは絶対にゆるさん」

家族そろっての夕飯の後で、両親に進路の話をしている時でした。それまで黙っていた祖父が、大声で口を挟んだのです。いきなりの反対発言でした。祖父にしてみれば山本家を継ぐ大事な孫のことを思っての意見だったのでしょう。夏は山田で米を作り、冬になると父は杜氏として酒造会社に出稼ぎに出る我家の家計もけっして豊かではなく、ましてや私立の大学に行くとなると学費も安くありません。両親も祖父の意見に賛同しました。今思えば他に方法はあったでしょうけど、幼い頃からおじいちゃん子で可愛がられ、小遣いをせびったりして、なんでも言うことを聞いてくれていた祖父の、大学進学反対に悲しく思いつつ、従うしかありませんでした。（つづく）

☆久斗山地区公民館 【お問い合わせ・連絡先】 新温泉町久斗山628 山本一幸 （TEL0796-85-0118）